

令和5年4月12日

デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

有限会社いづみ

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

A) 労働生産性の向上

新しく導入する臨床化学分析装置は、遠心分離機が不要となるため、検査効率が大幅に上昇します。また、超音波診断装置もその検査精度向上から検査時間の短縮が実現され、労働生産性が向上します。

B) 見える化の推進

新しく導入する超音波診断装置は様々な計測機能を搭載しており、その品質が飼い主様へのインフォームの際に見える化されます。また、臨床化学分析装置と血球計数機は、検査結果の表示がチャートなどを用いてわかりやすく進化しております。インフォームの際に飼い主様にも品質の向上が見える化され则认为ます。

C) 安全性の向上

高齢ペットに限らず、手術を受けた後の動物は身体が弱っており、高精度な術後管理が必要不可欠です。本事業で導入するICUはデジタル技術を活用して室内管理の精度が大幅に向上しております。これにより、術後管理の安全性が向上します。

2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、院内で早期発見早期治療が完結する病院へ」

当院は本事業で高度な検査体制と術後管理体制を確立します。デジタル技術を活用した機器を用いた検査により、確実な早期発見が可能になります。また、術後管理も高度化できるため、安全性の高い治療体制を確立し、早期発見早期治療を実現します。また、治療の効率化により労働生産性も向上するため、デジタル技術の活用は当院と患畜、飼い主様にとって多くの利点があります。顧客満足度の向上と、院内回転率の向上から来院数が増加し、経営面でも弊社に寄与します。

3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 手術体制においても今後継続的にデジタル化の検討
- 機器の十分な活用のためのDX人材教育
- 上記をより推進するためのディーラー様や学会などの外部専門家との連携

4. 戦略推進のための組織体制

